

## 第2回 西区教育ミーティング 会議録概要

開催日時	平成26年11月25日(火) 午後1時30分から午後2時30分まで
会場	西区役所健康センター棟1階 大会議室
出席者	<p>西区自治協議会委員 出席22名</p> <p>西区PTA連合会長</p> <p>教育委員</p> <p>    沢野教育委員、吉村教育委員、伊藤教育委員、眞谷教育委員</p> <p>事務局</p> <p>    教育長、教育総務課長・補佐、企画室長、</p> <p>    教職員課管理主事、保健給食課長、施設課長補佐</p> <p>    生涯学習課長、青少年・地域と学校連携室長</p> <p>    学校支援課長補佐3名</p> <p>    西区教育支援センター所長、坂井輪公民館長</p>
議事	<p>1 開会</p> <p>2 教育委員代表挨拶 沢野教育委員</p> <p>3 出席者紹介(教育委員, 事務局)</p> <p>4 テーマについて</p> <p>「地域と学校の連携について」 事務局説明 生涯学習課長</p> <p>○ 地域と学校パートナーシップ事業の取組について</p> <p>    ① 事業の目的</p> <p>    ② 地域と学校パートナーシップ事業の目指す姿</p> <p>    ③ 事業内容</p> <p>    ④ 地域教育コーディネーターについて</p> <p>    ⑤ 実績の推移</p> <p>    ⑥ 平成25年度の取組について</p> <p>5 西区事前質問の回答について 事務局説明 生涯学習課長</p> <p>    ① 「地域と学校の連携」について</p> <p>    ② 地域教育コーディネーターの配置基準, 職務内容, 勤務形態と研修について</p> <p>    ③ コーディネーターの採用について</p> <p>    ④ コーディネーターの採用時の指導について</p> <p>6 西区事前質問について 教育委員回答</p> <p>    教育委員がイメージまたは目的としている「地域と学校の連携」とは</p>

#### 教育委員

子どもも地域も学校も元気になる具体的な取組という中の一つに、学習活動への参画ということで学習支援があります。今日は西区の皆さま方の思いを聞かせて頂きたいと思っています。西区の方はこんな風に思っておられるという事を念頭に、新潟市全体の教育の場に反映させていければと思っています。

#### 教育委員

連携のイメージと目的について、基本的に地域と学校の距離が非常に近く、暖かくつながっていること。特に子どもたちの成長を願いながら地域活動を通して地域と学校がもっともっと近くなるということが連携のイメージと考えています。

#### 教育委員

パートナーシップ事業の目指す学・社・民の融合による教育として、子どもたちが地域の皆様からいろいろな知恵をいただき、地域の皆様がこれまでの経験を学校の子どもたちの場で生かして頂きながら、それぞれが結び合っってパートナーとなってやっていたらより良い教育ができていくのではないかと考えています。

#### 教育委員

学・社・民の融合による教育で、「社」とは社会教育で学ぶこと、「民」とは地域のお祭りや文化活動、地域の知恵、この蓄積の中から学校を応援していこう、そういうことがこの図式の意味であり連携かと考えています。皆さんの地域のそれぞれの魅力、それから課題やいろいろなことを一緒に考えながら、より良い教育につなげていきたいと思っています。

## 7 意見交換

#### 自治協委員

コーディネーターについて、当校区に1名配置されていますが、1名では仕事がやりにくいんじゃないかなと個人的に感じています。せめて2名いれば、家庭の事情で休む時には相談しながらということで、2名は必要でないかと思います。基準はないとの事ですが、配置基準を作って頂ければ仕事がやり易いんじゃないかなと考えておりますがいかがでしょうか。

#### 教育委員会事務局

現状では1人でやっている学校が多いのですが、1人の方がやり易いという面もありますし、複数の方が意見交換しながら出来るという

利点もあります。配置基準についても当初は考えたことはあったようですが、実態として配置基準がない方が良いと考える学校もありますし、今後の課題としてどうするか研究していきたいと思えます。

#### 自治協委員

先ほどの教育委員の言葉の中で少し気になったのですが、コーディネーターは学校の先生方が忙しいので、その補完のお手伝いの位置にあるかのような発言があったかと思うのですが、これについては違うのではと思います。この役割を見ますと学校の先生をリードするくらいの能力を持った方が就任されていると思うのですが、今の委員の説明の中ではお手伝いという話がありました。それについてはどこがお手伝いなのかちょっと聞かせてください。

#### 教育委員

位置という意味ではなかったのですが、先生方が学習活動に地域の方々からお手伝い頂くときに、先生ご自身が連絡をされていました。その部分を地域教育コーディネーターという非常勤の職員の方が担当されて、学校でのニーズ、また、先生方の要望などに応えながらより良い学習活動のために、地域とのつなぎ役という意味で申しただけで、位置関係が上とか下とかいう意味でお話したつもりはないのですが、ご理解頂けますでしょうか。あくまで私の解釈として申し上げました。

#### 自治協委員

地域と学校の地域教育コーディネーターというと、よほどの能力がないと地域のコミ協や自治協と連携を取りながらなんて出来ないと思います。コーディネーターは校長先生のお手伝い係、そのように教育委員の方が見ているという話だと、地域なんか取ってくださいと言いたい気持ちです。

#### 自治協委員

当地域の小・中学校にはコーディネーターが2人いますが、非常に積極的で、行事等に協力してくれて有難いと思っています。地域の中に飛び込んでいくコーディネーターは学校と地域の連携が非常に上手くいっている事例だと思います。

当校区の話ではないが、地域教育コーディネーターが役割を良く認識しておらず、学校長との話し合いで地域の方々の意見を余り聞かないでことを進めることがあるとか。市長が言っているようにコミ協及び地域との連携を上手くやらないと意思疎通に欠けてしまう。今後の研修においては任務・役割について、個人差が出ないように研修をしてもらいたい。最後にコーディネーターの選任について、推進会議の

構成メンバーは地域代表、学校代表、社会教育の代表となっております。地域の代表はどなたですか。提案したいのは、学校長、PTA 代表、地域コミ協の代表の人たちから意見を聞いて決めた方がより効果があるのでないかということです。

#### 教育委員会事務局

研修については年3回、実施しています。また、区ごとでも実務研修をやっています。先ほど委員がおっしゃったことは、再度周知していきたいと思います。推薦会議の構成委員ですが、コミ協の代表とはコミ協の会長を想定しております。PTA の役員が入っているところもありますし、当然に学校長、公民館長等、また育成協があるところは育成協が入っているところもあります。

#### 自治協委員

今ほど育成協と言われましたが、私は小学校の育成協についてはいつも疑問に思っています。小学校の育成協について教育委員会として認知しておられるのでしょうか。中学校については条例等がありますが、各コミ協に青少年育成部会等が設置されています。そこと目的、活動状況等が重複しています。皆さんはどうお考えなのか。

#### 教育委員会事務局

中学校については学校ごとに育成協議会がありますが小学校については把握していない部分もございます。

パートナーシップ推進会議の構成員に必ずしも育成協が入っているということではなく、地域によって構成メンバーも変わってきます。コミ協代表と社会教育施設の代表と学校代表は必ず入るようお願いしていますし、その地域の実情によって育成協が入っているところもありますし、PTA が入っているところもあります。それは学校によって異なるのでご了解を頂きたい。

#### 西区 PTA 連合会長

このたび、西区 PTA 連合会では、11月22日に「西区 PTA 連合会研究大会」を開催しました。今までは PTA の保護者だけの参加でしたが、今年はスローガンを少し変更し、「情熱と進化」、家庭も地域も学校も情熱を絶やさず進化する西区ということで、保護者に加えて今年初の試みとして地域の皆様方を募って開催しました。当日は約400名の参加があり、孫と一緒に参加できたなど評判が良かったです。今後、西区 PTA 連合会としましては、地域の皆様方とともに活動していく場面を増やしていこうと考えております。地域と学校の連携と謳われていますので、引き続き趣旨に賛同してやっていきたいと思っています。

#### 教育委員会事務局

学力テストの公表についてと申すことで説明します。今回「学力学習状況調査」の結果についてと申すことで資料添付しました。数値について課題として見ている部分は良いのですが、数字が独り歩きすることによって、さまざまな誤解を生んでいくことが考えられます。各校の結果についてはすべてを発信するのではなくて保護者に対してお知らせしています。

#### 8 テーマ以外の質問意見交換

##### 自治協委員

セーフティスタッフについて、登下校、それから不審者の排除ですね。これらから子どもを守る活動を非常に熱心にやっています。言わば護衛をやっているセーフティスタッフに対してユニホームを再度貸与出来ないということはどういうことなのだろう。その回答を書面でお願いしているのに返事がないんですよ。みんなが納得できる説明をしてください。

それともう一点、通学路。黙っていると外側線の白線が消えても引いてくれない。維持管理してくれません。誰が管理して自主的にやってくれるのか、この辺もきちんとしてもらいたいと思います。

#### 教育委員会事務局

本当にセーフティスタッフの皆様には、いつも雨の日も風の日も立って頂いて感謝申し上げます。これが起きた原因は平成16年頃に子どもに関する大きな事件が起きて、それを地域の方々に協力して頂いて守って行こうと申すことで、「ながら」と申す形で事業を始めたと聞いています。折角そうやって一生懸命に子供たちの安心安全のためにやってくださっている方々が、例えば事故とか、怪我をしたという場合に補償が出ないという問題があります。ユニホームの貸与も含めて、その部分の制度の検討を今始めているところです。

##### 自治協委員

いつも登下校の見守りをやっている人は「ながら」なんて、そんな生半端な気持ちじゃないんですよ。みんな一生懸命やっているんですよ。雨の日も、雪の日も、風の日も、本当に、カッパのうえにまたオレンジの服を着て、「ながら」なんてちょっと出かけてくる、そんな気持ちじゃないんですよ。言わば警察官だって制服を着ているから警察官に見えるんですよ。身を守る人が、守っている人が制服を着ていることで、あそこは絶対に行っちゃだめと悪い奴はそこから逃げていくんですよ。制服ってそういう意味なんですよ。当校区だけでないと思いますけれども、ほかにも意見があると思います。なんとか前へ進む

ような話をしてください。お願いします。

自治協委員

災害についての質問ですが、浸水の恐れがある 55 校のうち、防災訓練を地域の自治会と共同で行っている学校については把握していないのでしょうか。

教育委員会事務局

今ほどの防災訓練のご質問の前に補足説明します。

西区内の津波の恐れがある学校で 10 校あげました。この 10 校についてどのように選んだのか。最後のページにカラー刷りの「津波避難地図」があります。これは新潟県の津波浸水想定区域で、平成 25 年に作られました。それをもとに市で新潟市に想定される 2 つの 3 連動地震で、もし、3 つの地震が同時に起きたらどうなるのだろうかということで、津波の想定領域をピンクの線で囲ってある図面です。

その中で、ピンクのカラーマークを付けてありますが、これは学校の敷地の一部でも想定領域に引っかかっている部分がある場合、安全に安全を重ねて、浸水する学校として設定しました。

教育委員会事務局

学校の避難訓練に地域が参加している学校ということでここに書きましたが、地域に学校が参加したところは、資料を持ってきていませんでした。後ほどお伝えしたいと思います。

9 自治協議会部会長あいさつ